



AOI国際病院 Time's

VOL. 35 春号

目次

P1-2 おしえて！
ドクターインタビュー
～整形外科 谷口先生～

P3-4 新任医師 紹介
P5 看護師長さんに
聞きました

P6 おいしいページ(栄養部)
P7 編集後記

病院の理念

地域の皆様に信頼していただける、質の高い医療を提供します。

基本方針

1. 救急医療から、一般急性期、回復期、慢性期、緩和ケア期までのシームレスな総合医療を提供します。
2. 川崎市臨海地域病院として、各医療機関、保健福祉機関と密接に連携します。
3. 生活習慣病健診を充実させ、予防医学に貢献します。
4. 運営の持続的安定を確保し、病院としての責任を果たします。
5. 職員が誇りを持てる働き甲斐のある病院を目指します。

第11回

教えて！ インタビュー

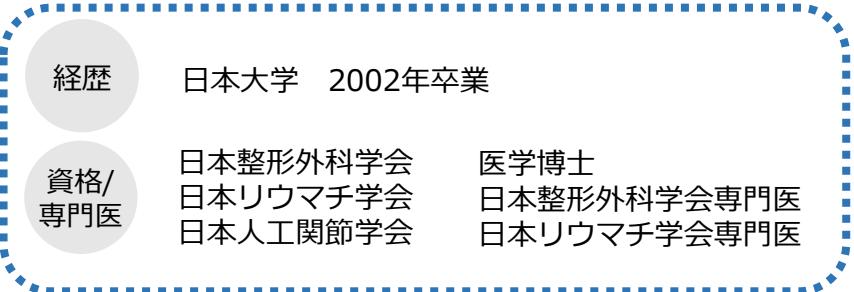


整形外科
AOI人工関節センター長
たにぐち しん
谷口 真 医師

もっと皆様に当院のことを知っていただきたくAOI国際病院で働く医師をご紹介いたします。

第11回目は、AOI国際病院 整形外科 谷口 真先生にお話を伺いました。

先生はAOI国際病院 人工関節センター長としてもご尽力されています。



Q1. 医師を志したきっかけ、また【整形外科】を選択した理由をおしえてください

身内に医師が多かったので、小さい頃からその姿を見て自然と医学部を目指すようになりました。整形外科を選んだ理由は、※ポリクリの整形外科の手術を見たり、患者様と接したりして、興味を持ちました。

※ポリクリ = 臨床実習

Q2. 当院で診ている具体的な疾患を教えてください

ほぼすべての整形外科の疾患に対応することができます。
私は関節外科を専門で診ています。手術は人工関節の手術を専門に行っています。

Q3. 当院の整形外科にはどのような特徴がありますか？

どんな疾患にも対応できる医師が揃っています。
手術に関しても、一部特殊な症例を除けば、ほぼすべての疾患に対応できます。
背骨や関節を専門にしている医師がいたりと、幅広く診療にあたれます。

Q4. 診療にあたり心掛けていることはありますか？

正確に診断し、患者様にあった治療法を提案し、患者様とのコミュニケーションを大事にして診療しています。



健康のためのヒント ～膝の痛みで知っておきたいこと～ 当院のホームページで公開中です

AOI 健康のためのヒント



谷口 真 先生に聞きました

Q5. 日々の業務内容をおしえてください

外来・病棟・手術の3つを主におこなっています。

Q6. 先生のリラックス法やストレス解消法があればおしえてください

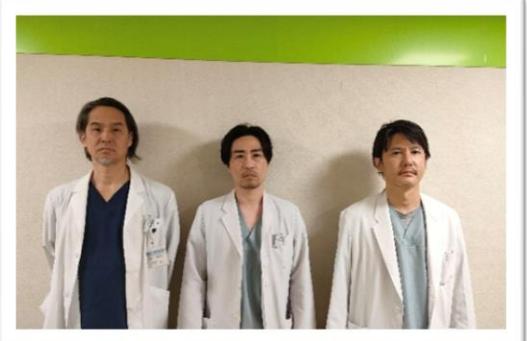
休日にサウナに行っています。
週1回は行っています。

Q7. 先生が健康を維持するために続けていることはありますか？

ランニングなどの軽い運動を続けています。



AOI国際病院 整形外科DRチーム



右から▶ 谷口 真 医師(AOI人工関節センター長)
菅野 剛 医師(整形外科 部長)
吉田 拓 医師(整形外科)

Q8. 好きな言葉・座右の銘はありますか？

「病気を治すのではなく、患者を治す」

Q9. 地域のみなさま・患者さまに一言おねがいします！

痛みなどで困っている方は当院当科に相談していただき、患者様に合った治療をご提案させていただきます。

痛みとひと口に言っても、原因はさまざまです。まずは、整形外科を受診して、痛みの原因が何なのか診断をつけてもらうことが大切です。ご自分の状態をしっかりと把握したうえで、内視鏡やその状態にあった痛みの改善を目指す保存療法を受けてみてください。それで改善しなくとも、人工関節のように、保存療法をリカバリーする治療法の選択肢はいろいろあります。

痛みでやりたいこともできず困っているなら、まずはお気軽にご相談ください。

外来担当表 HPに最新の外来担当表をのせてています 整形外科

	月	火	水	木	金	土
午前	菅野	山田	吉田	菅野 沼口 (第1.2.3.4週)	田沼	日本大(交代制) (第1.2.3・5週) 鈴木(第4週)
午後				角野 (第1.3.5週) 沼口(第2.4週)	田沼	

整形外科 人工関節センター

	月	火	水	木	金	土
午前	角野(関節外来)	北村(関節外来)	谷口	角野	吉田(関節外来)	谷口(関節外来)
午後	角野(関節外来)	上西(関節外来) (予約のみ)				

就任のごあいさつ



日本外科学会 専門医
日本心臓血管外科学会 専門医・修練指導医
日本脈管学会 専門医・指導医
日本循環器学会 専門医
胸部・腹部ステントグラフト指導医

1984年 岡山大学医学部 卒業
1988年 岡山大学医学部大学院 卒業
1988年 岡山大学医学部付属病院
1989年 岡山赤十字病院
1990年 南カリフォルニア大学
1993年 岡山大学医学部付属病院
1999年 吳共済病院
2003年 松山市民病院
2008年 香川県立中央病院
2012年 昭和大学病院 心臓血管外科
2025年 AOI国際病院 血管外科・内科

血管外科・内科

あおき あつし
青木 淳 医師
岡山大学 (1984年卒)

長年、心臓血管外科医として勤務していましたが、2025年3月に定年を迎え、4月にAOI国際病院に赴任致しました。
当院では、一般内科医として業務を行いつつ、血管外科医として、透析患者様のブラッドアクセスに関する業務を行っていく予定です。
お気軽にご相談ください。



日本内科学会 総合内科専門医
日本腎臓学会 腎臓専門医・指導医
日本透析医学会 透析専門医
多発性囊胞腎協会 多発性囊胞腎認定医
難病指定医
身障者福祉法指定医

2014年 東京医科歯科大学医学部 卒業
2014年 済生会川口総合病院
2016年 JAとりで総合医療センター
2018年 土浦協同病院
2019年 JAとりで総合医療センター
2024年 平和病院
2025年 AOI国際病院 腎臓内科

腎臓内科

いはら ふみたか
伊原 史崇 医師
東京医科歯科大学
(2014年卒)

2025年4月より赴任した腎臓内科の伊原 史崇と申します。
よろしくお願ひいたします。

◆医師を目指したきっかけは、大学生の時に緊急で医学的な対応が必要な場面に立ち会いました。その経験から医師として働くことで少しでも社会に貢献できる人になりたいと思いました。

◆診療においては、患者様一人ひとりの生活背景を理解し、最適な治療を提供することを心がけています。特に腎臓疾患は長期にわたる管理が必要なことも多いため、患者様と信頼関係を築きながら、無理なく治療を継続できるよう努めています。
また、最新の医学知識を常に学び、より良い医療を提供できるよう研鑽を重ねています。

◆趣味はウェイトトレーニングで、大会出場を目指して日々鍛錬しています。体を動かすことで健康の大切さを実感し、患者様にも運動、食事管理の重要性を伝える機会を大切にしています。



就任のごあいさつ



歯科口腔外科

えんどう けんと
遠藤 研人 医師
北海道大学歯学部
(2019年卒)

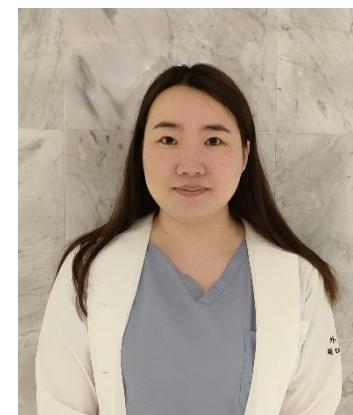
日本口腔外科学会認定医
臨床検査技師

2019年 北海道大学歯学部 卒業
2019年 横浜労災病院 歯科研修医
2021年 東京医療センター 歯科口腔外科
2025年 AOI国際病院 歯科口腔外科

今年度から、歯科口腔外科で診療しております遠藤です。
よろしくお願ひいたします。昨年度、木曜日のみAOI国際病院で診療して
おりましたので見かけた方もいらっしゃるかもしれません。
高校までは埼玉県で過ごしました。家から離れた地で一人暮らしをした
くなつたので大学生活は北海道で送りました。さすがに冬の寒さに
耐えられず、卒業後は関東に戻ってきて現在に至ります。
まだまだ未熟ではございますが、どなたでもお気軽にご相談いただけ
ましたら幸いです。

◆診療にあたり心掛けていること
安心・納得して治療が受けられるよう、患者様への説明を丁寧に行う
ことを心がけております。

◆趣味
旅行、ドライブ、スノボなど。初心者ですが釣りやキャンプも好きで
す。ですが、最近はあまり時間がなくてご無沙汰です。



消化器外科

さかぐち りさ
坂口 莉彩 医師
東京女子医科大学
(2022年卒)



2022年 東京女子医科大学医学部 卒業
2024年 東京慈恵会医科大学 入局
2025年 AOI国際病院 消化器外科

4月よりAOI国際病院に赴任しました坂口莉彩と申します。消化器外科
を担当します。

至らぬ点も多くあるかと思いますが、皆様のお役に少しでも立てるよ
うに精一杯精進していく所存です。どうぞよろしくお願ひいたします。

◆診療にあたり心掛けていること
患者様一人一人にしっかり寄り添い、丁寧な診療ができるように心掛
けています。

◆趣味や好きなこと
最近ゴルフを始め、まだ初心者ですが、隙間時間で練習に励んでいま
す！



よろしくお願ひします

地域の皆様が安心して医療を
受けさせていただけるよう、職員
一同邁進してまいります。



第7回

看護師長さんに聞きました



救急外来
長岡看護師長

【今回は救急外来の長岡師長にお話を聞きました♪】

Q1. 師長が看護師を目指したきっかけは何ですか？

私は、異国文化のあふれる横須賀で生まれ逗子という海辺の町で育ちました。明るくスポーツ万能で過ごした幼少期、学校行事の際に、怪我をしていたり障害を持つ友達とペアを組みダンスを踊ったりキャンプをともに楽しみました。そこに必ずいたのは看護師。健康な私にもペアを組む友達にも優しく声をかけ細やかに対応してくれる姿を見て、「私もこんな風に人を支えられる存在になりたい」と感じたことが看護師を目指すきっかけになりました。



Q2. 救急外来で働くことは？

救急外来は、例えば「いってきます！」と家を出た家族が突然、生命の危機に直面した緊急事態に対応しています。そんな緊急事態に私は、いつでも、どこでも、だれにでも、瞬時に寄り添い、信頼感を得て必要な医療やケアを提供することを心がけています。

突然の危機的状況で孤独や不安に押しつぶされそうになっている患者様に寄り添い、大好きな人と一緒にいられる時間尽可能多くする、「私の家族にしてあげたい看護」を提供することが使命です。

Q3. 国際災害医療支援活動にも参加されたそうですが、印象に残っていることはありますか？

記憶にあるすべてが私の看護師人生にとっての大切な財産です。笑顔で接することや背中をさする、手を握るといったことがやはり医療の原点であるということを学びました。

看護師は常日頃、そういうことをコミュニケーションツールとして使っていますが、言葉の通じない海外に行ったとき、人と関わる際に何より大事で普遍的なことだと感じました。

また、開発途上国への災害支援では、物がない、薬がない、怪我をした部位をきれいに洗うことすらできないといった経験をたくさんしてきました。そこで得たことは、工夫や考えることです。どうしよう？ どうしたらよいか？ しかも大勢の被災者に平等に行える医療は？ と様々な国の看護師と考えて過ごした時間が印象に残っています。



Q4. 好きな言葉、座右の銘はありますか？

高校の校訓「質実剛健」です。

見た目より中身重視、冷静さと判断力、そして人の命を預かるタフさと解釈しています。現場で優しく丁寧にそして時に厳しくプロとして確実に動ける力を大切にしています。



Q5. これから目指したいことはありますか？

原点回帰。

共に働く救急外来の精鋭なるスタッフたち、そしていつもご支援いただく関連部署の皆様、多くの仲間のおかげで私たちが望む救急医療のすべてを発揮できていることに感謝しています。これまでの看護師経験から困難な場所にこそ仕事がたくさんあると感じます。たとえ小さな仕事でも誇りをもって全力投球することは、自分に豊かな知識と技術、能力が備わるものです。人が生きている場所には、必ず医療があり看護があります。避けて通りたい困難なことや、見落としがちな小さなことに気づける看護師長としてAOI国際病院救急外来の醸成に取り組みます。

おいしいページ

寒い冬が過ぎ、暖かい春の季節になりました。
今回は、春の旬の食材である『鰯』を使ったレシピをご紹介します。



さわら 鰯と春キャベツのソテー

【材料（2人分）】

鰯・・・2切れ
塩・・・小さじ1/2
小麦粉・・・適量
キャベツ・・・150g（1/8くらい）
オリーブオイル・・・適量
にんにくチューブ・・・1cm
酒・・・大さじ2
★バター・・・10g
★醤油・・・大さじ1

鰯にはビタミンD、EPA、DHAが含まれています。
ビタミンDはカルシウムの吸収を促進し、骨や歯の形成を助ける働きがあります。
EPAやDHAは血流を良くする働きがあります。

【作り方】

- ① 鰯は塩をふっておく。しばらく経ったら水気をふき取り、小麦粉を全体にまぶす。
- ② キャベツは食べやすい大きさにちぎる。
- ③ フライパンにオリーブオイル、にんにくを入れて火にかけ、香りが立ってきたら①を入れて両面焼く。
- ④ ②、酒を入れてふたをし、蒸し焼きにする。
- ⑤ ★を加えて全体的にからめる。

鰯は春に多く収穫されることから、その名の通り春を告げる魚として日本古来より重宝されていますが、実は冬と春どちらも旬とされています。冬は身に脂がのっており、春の産卵の時期はさっぱりとした味わいです。どちらも味にクセがなく、和食・洋食、煮る・焼く・揚げるなど何でも合います♪

鰯の竜田揚げ



鰯と春キャベツのソテー



写真：飛山

さわら 鰯の竜田揚げ

【材料（3人分）】

鰯・・・3切れ
★醤油・・・大さじ1
★みりん・・・大さじ1
★酒・・・大さじ1/2
片栗粉・・・適量
油・・・適量
ベビーリーフ・・・適量
レモン・・・1/4個

揚げ焼きにすることで油の使用量を抑えられます！

焦げやすいので注意★



【作り方】

- ① レモンはくし形に切る。鰯は一口大に切り、余分な水分をキッチンペーパーでふき取る。
- ② ビニール袋に鰯と★を入れる。冷蔵庫で10分以上おき、下味をつける。
- ③ ②の水気を軽く切り、片栗粉を全体にまぶす。
- ④ フライパンに油を多めにひき、③を両面こんがりと色がつくまで揚げ焼きにする。
- ⑤ お皿に④、ベビーリーフを盛り、お好みでレモンを添える。

栄養部 永野原



編集後記

野山の緑が鮮やかな色を見せる季節、お変わりなくお過ごしでしょうか？

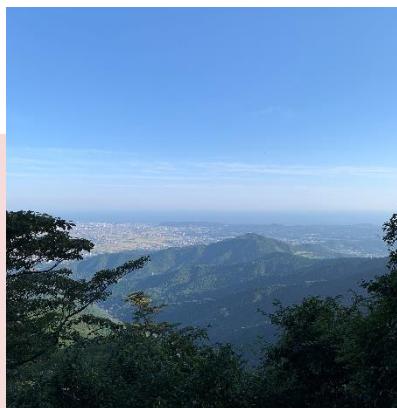
表紙の写真は神奈川県の丹沢山の東に位置する大山から見た富士山です。大山は都心から約90分で登山口に行ける手軽なハイキングや登山スポットです。

私は幼児の娘と一緒に登るのですが、娘はすぐ「疲れた～！もう歩けない～！」を連呼し、抱っこやおんぶを要求してきます。しかし、こちらも年々の体重増加に加えて老化と戦っている身体なので、娘を手伝える余裕は1ミリもなく、重力に逆らいながら、必死で自分の身体を上に運びます。

家族全員で励まし合いながらなんとか山頂に着いて、コーヒー豆をその場で挽いていただくコーヒーは格別に美味しく感じました。登っている最中は「せっかくの休みの日になんでこんな苦行をしているんだろう・・・」とブツブツ文句を言いながら登りますが、頂上からの景色を眺めながら腰に手をあて、仁王立ちしてコーヒーを飲んでいる時、また明日からも頑張ろうと前向きな気持ちになれるのが不思議です。

仕事も同様で、毎日様々な困難ケースに直面します。その時は出口など見えないような気になりますが、職場や関係機関に相談しながらなんとか対応していると、最後には解決策が見つかるものです。

本年度も、院内はもちろん地域の関係機関の皆様と連携しながら、患者様に寄り添っていける病院を目指してまいります。



◀ 昨年は大山の登山道で鹿に会いました。人に慣れているのか私たちがいても逃げずに黙々と草を食べていました。今年もまた会えるといいなと願っています。

地域医療連携室 飛山



患者さまのご紹介、ご予約のお問い合わせは
地域医療連携室 TEL 044-277-5519(直通)
FAX 044-277-5747